

contents

- 2 第1回臨時会
- 2 予算特別委員会
- 6 議会日誌／6月議会日程
- 7 第2回定例会
- 9 一般質問
- 14 審議結果表
- 15 特別委員会
- 16 スマイルインタビュー/あとがき



初登校
島からの2年ぶりの
新一年生の初登校

入学おめでとう
小学校の入学式で
友達と記念撮影

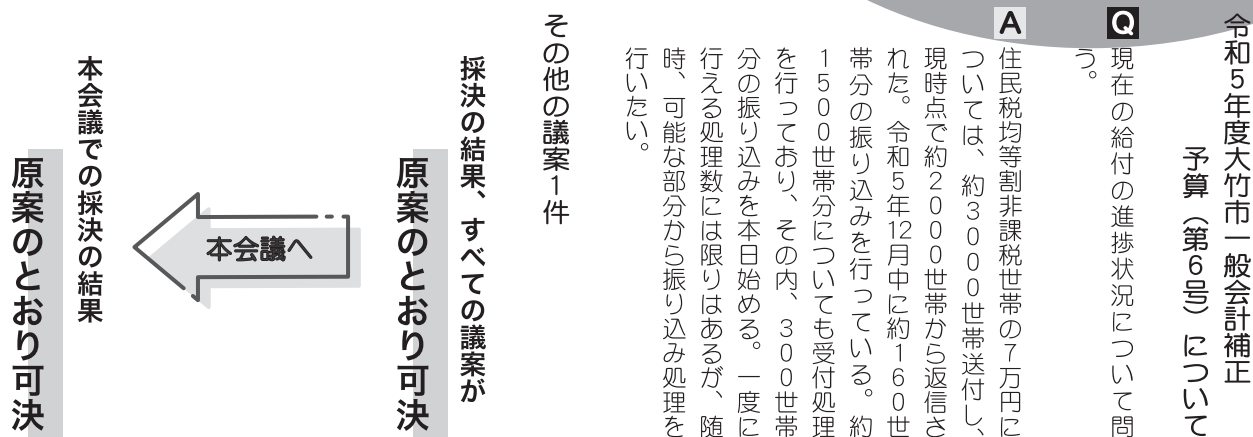


【撮影場所】 阿多田港
大竹小学校

大竹市議会だよりの
表紙写真を募集しています

応募方法は市のホームページ又は
議会事務局までお問い合わせください。





－ 令和6年2月号の記事の訂正について －

2ページ決算特別委員会の決算特別委員に誤りがありました。「西村 一啓」とあるのは、「山崎 年一」でした。訂正して、お詫びいたします。

▶ 予算特別委員会

----- 令和6年度予算を審査 -----

西村委員長以下7名の委員で構成する予算特別委員会において、3月13日～15日、慎重に審査した結果、可決すべきものと決しました。その後本会議での採決の結果原案の通り認定。

予算
特別委員

委員長：西村 一啓 副委員長：中川 智之
委員：中野 友博 豊川 和也 山代 英資 岡 和明 藤川 和弘
寺岡 公章

委員会における質疑及び答弁の一部

▶ 市制施行70周年記念協働のまちづくり推進事業

Q

市制施行70周年記念事業の協働のまちづくり推進事業(市民提案事業助成金)について事業内容を伺う。

A

大竹市が市制施行70周年を迎えるにあたり、市民団体が行う記念事業に対して助成金を交付する事業が新設された。助成金の上限は20万円で、事業名に70周年を掲げ、まちづくり基本構想に掲げる目標に沿った事業が対象となる。4月から6月にかけて市広報等で周知し、事業提案を募集する予定。

地域公共交通整備事業

Q 公共交通負担金が増額となった理由を伺う。

A 公共交通負担金が増額している主な要因は、バス運転手の労働条件基準が令和6年4月から改正されることに起因して、現在1人体制で運行しているこいこいバスを1.5人体制とすることにより、人件費の増となり、負担金を1,089万8,000円増額するものである。また、現在5路線で運行しているデマンド型乗合タクシーの運用拡充のため、237万2,000円増額とした。

母子保健指導事業

Q 10カ月児面談の育児能力の向上を図る事業内容について伺う。

A 10カ月児面談はネウボラの専門職である保健師、助産師、看護師、管理栄養士、どんぐりハウスの保育士が従事し、あいにく館からボランティアの方に来ていただいて絵本の読み聞かせをしている。歯の健康教育、絵本に慣れ親しむなどの情報提供や保護者の悩み相談への対応、必要に応じた子育てサービスの利用について、予防的に情報提供することにより、保護者の育児能力が向上し、安心して子育てできるように取り組んでいる。

市営外灯維持管理事業

Q 市営外灯 LED化工事について、工事スケジュールをどのように考えているか。また、LED化することにより、費用面でどの程度の効果が見込めるのか伺う。

A 市営外灯、約2,200基のうち、1,000基程度はLED化が完了している。残りの水銀灯、蛍光灯を令和6年度、令和7年度でLED灯に交換したいと考えている。大まかな試算として、電気代などの維持管理費用は、約5割から6割程度、削減されるものと想定している。

学校教育振興事業

Q 学校教育振興事業の市内小中学校70周年記念事業で、市制施行70周年を記念して、大竹市をアピールする活動などを市内小中学校が実施するとあるが、予定している計画について伺う。

A 各教科の年間指導計画に沿って、子どもたちを主体とした学びの一環となる活動ができるように、各学校で現在、構想を練っているところである。案の1つとしては、いろいろな方に大竹市のことを知っていただくパンフレットを総合的な学習の時間等で子どもたちが作成をして、修学旅行先で配布してアピールするなど考えている。

高規格救急自動車整備事業

Q

高規格救急自動車整備について、令和2年度に整備した車両と今回更新の高規格救急自動車の違い、どのような処置を行えるようになるか伺う。

A

型式の変更等はあるが、基本的な装備は総務省消防庁が定めた救急業務実施基準の要件を満たしており、大きな変更はない。救急救命士が、医師の指示を受けて病院への搬送前に処置を行うための主な資機材として、気管チューブ挿入に使用するビデオ喉頭鏡、半自動式除細動器、自動心臓マッサージ器等を整備する予定である。

おむつ宅配事業

Q

新規事業のおむつ等宅配事業について、対象者数及び必要となってくる子育て経験のある配達員数は、どの程度を想定しているのか伺う。

A

生後2か月から満3歳の誕生日までの乳幼児のいる家庭に、おむつ等の子育て用品を2か月に1回自宅に宅配、子育てサポート情報の提供、母子の健康状態の確認、保護者からの相談対応などを行う。対象者数は、これまでの実績から最大450人程度を見込んでいる。配達員は子育て経験者を2名程度雇用する計画で、詳細な制度設計は令和6年度に行い、10月事業開始予定。

情報化推進事業

Q

若手職員を対象にしたワーキンググループを編成し、デジタル技術を活用した効果的な業務改善案を検討するとあるが、内容と最終的な目標を詳しく伺う。

A

情報化計画推進の一環として、若手職員10名程度を各部署から募り、新たなプロジェクトを立ち上げる予定である。このプロジェクトの内容は、成功も失敗も含めて明らかにし、議会にも分かるように報告する。行財政システム改善推進本部で中間報告と最終報告を行う予定で、最終報告は次年度予算に反映させるため、秋頃を予定している。予算に間に合わないものは順次実施し、有効的なものは継続する方針である。

総合福祉センター運営事業

Q

総合福祉センター運営事業について、施設、設備の今後の方向性を伺う。

A

施設利用者の意見を伺うため、施設利用のある団体の会議等に参加し、多くの要望や意見をいただいた。市としては、廃止決定したリハビリ温水プールを、福祉避難所の要素を盛り込んだスペースにする方向で考えているが、具体的には、令和6年度の設計段階で考えていく予定。利用者や利用団体からいただいた意見を精査しながら、可能な限り意見を反映できるスペースとなるよう考えていきたい。

委員会での討論

賛成



全体的な予算については賛成であるが、小方にある城山陸橋について補修が進んでおらず、どんどん予定がずれこんでいるため早急な補修をお願いしたい。

委員会で採決の結果、全会計とも原案のとおり可決

本会議での討論

早急に対応すべきである城山陸橋の補修が予算に編成されていない。



土地の存在確認は地権者同士の合意の元で作成された公図に基づくべきだが、大竹市では公図と異なる地番図を課税根拠としている。公図に記載のない土地への課税留保、公図訂正の法務局への要請、地番図の利用停止を行うべきであり、そうすることで作成・維持管理コストの削減と課税業務の合理化がされる。



賛成



過去2番目に大きな当初予算であり、子育て事業や福祉事業、まちづくり事業など、新規の事業も多く取り組んでいる部分は評価する。一方でまちづくり事業の一部で進め方が拙速に感じる面もある。未来の大竹市のために、慎重かつスムーズな運営をお願いしたい。

賛成



おむつ等宅配事業や今後の大竹市の根幹を担うであろう、小方地区まちづくり関連事業、情報化推進事業等新規事業など多くの事業が提案されている。委員会での質疑でも執行部の事業に取り組む真摯な姿勢を理解できた。

本会議で採決の結果、全会計とも原案のとおり可決

3月定例会で、新たな特別委員会が設置されました。

小方まちづくり特別委員会

旧小方小学校・中学校跡地の活用を中心とした小方まちづくりは、大竹市の将来の発展に大きく寄与する、極めて重要な施策と考える。

平成29年に「小方地区のまちづくり基本構想」が示されて以降、調査、検討、体制整備等が進められてきた中で、令和6年1月には、一步踏み込んだ形での活用策が提示され、段階的にはあるものの、実現に向けた動きが具現化されようとする状況にあり、小方まちづくりを積極的に議論するために設置された委員会。

【委員長】 小田上 尚典 【副委員長】 細川 雅子

【委員】 中野 友博 豊川 和也 小出 哲義 末広 天佑 藤川 和弘 中川 智之

議会日誌

令和6年2月
～令和6年4月

令和6年

2月1日	全国高速自動車道市議会協議会(東京都)	13日	予算特別委員会
2日	広報広聴特別委員会 議会のあり方調査研究特別委員会	14日	予算特別委員会
8日	全国市議会議長会 理事会・評議会合同会議(東京都)	15日	予算特別委員会
19日	議員全員協議会 生活環境委員協議会	21日	議会のあり方調査研究特別委員会
21日	議会のあり方調査研究特別委員会	25日	議会運営委員会 本会議 総務文教委員会 生活環境委員会
22日	議員全員協議会 生活環境委員協議会		小方まちづくり特別委員会
27日	議員研修会	29日	小方まちづくり特別委員会
29日	本会議 総務文教委員会 議員全員協議会	4月10日	広島県市議会議長会局長会議(広島市)
3月1日	生活環境委員会 生活環境委員協議会	11日	議会のあり方調査研究特別委員会 生活環境委員協議会 生活環境政策研究会
4日	基地周辺対策特別委員会 広報広聴特別委員会 議会のあり方調査研究特別委員会	17日	広島県市議会議長会定例会(広島市)
8日	本会議	19日	広報広聴特別委員会
11日	本会議 予算特別委員会 総務文教政策研究会 生活環境政策研究会 総務文教委員協議会	23日	中国市議会議長会定期総会(宇部市)
		24日	中国市議会議長会 視察(宇部市)
		25日	議会のあり方調査研究特別委員会

【視察来訪】

令和6年2月6日	広島県海田町議会 「学校給食費の無償化・玖波小学校施設整備事業について」
8日	熊本県天草市議会 「大竹市可燃ごみ中継施設について」

議会を傍聴しませんか

本会議	特別委員会	〃	常任委員会	〃(予備日)	本会議
6月28日(金)	6月21日(金)	6月20日(木)	6月19日(水)	6月18日(火)	6月17日(月)

6月議会日程(予定)



市議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住民のみなさまの声をめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているのか傍聴してみませんか。

また、動画配信サイト(YouTube)でも議会の様子を公開しています。下記バーコードを読み取っていただくと、視聴できます。

総務文教委員会 主な審査内容

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

Q 一定の要件を満たす企業職員である会計年度任用職員に勤労手当を支給するためとあるが一定の要件の内容について問う。

A 企業職員の会計年度任用職員の勤労手当の支給要件については、大竹市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例で定める要件を準用するよう考えている。具体的には、任期の定めが6カ月以上で、1週間当たりの勤務時間が15時間30分以上の会計年度任用職員に適用する。

Q 在宅勤務等で10日を超えた場合、3000円の手当が支給され、その分、通勤手当と減額調整することになるが、具体的な内容について問う。

A 1カ月間の勤務を要する平均日数から、在宅勤務等を命じられた日数を差し引いた日数の往復運賃の額が、月額の通勤手当となる。定期券を購入している場合は、定期券を解約して払い戻しを受け、新たに在宅勤務等の期間の通勤手当を支給される。公共交通機関以外の自動車やバイクで通勤する場合は、在宅勤務等を命じられた期間の月額の通勤手当を半減することになる。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

Q 総合整備計画を策定することによる補助率について問う。

A 総合整備計画を策定することにより、地方負担分については、辺地対策事業債を充当することができる。この起債は、充当率が原則100パーセントであるため、事業費の全額に充当できる。また、元利償還金の80パーセントは、後年度の普通交付税の基準財政需要額に算入されることになる。

大竹市マロンの里の

指定管理者の指定について

Q 指定管理期間が1年間である理由について問う。

A 指定管理については、平成18年度から実施しており、平成29年度までは指定管理期間が1年間であった。平成30年度から3年間の指定管理に変更したが、令和3年度以降は1年間の指定管理期間に戻った。大竹市としては、令和3年度以降も長期の指定管理期間という形で協議を進めていたが、現在の指定管理者の組織合併や組織内の改変等があり、1年間の業績を見極めて判断したいとの意向が強いため、指定管理期間が1年間となっている。今後大竹市としては、指定管理期

間は長期で行っていただけのように協議を続けていきたいと考えている。



マロンの里交流館

令和5年度大竹市一般会計

補正予算(第7号)について

Q 晴海臨海公園整備事業において、令和5年9月定例会で、2400万円増額する補正予算を可決しているが、今回の補正予算で800万円減額した理由について問う。

A 晴海臨海公園整備事業については、令和5年度当初予算で、北側駐車場等整備工事として1億800万円計上していたが、公園利用者からの要望を踏まえ、延長が230メートル、幅員が6・5メートルの幹線園路を早期に整備するため、9月定例会で、2400万円増額する補正予算を可決していた。

その後、入札による予定価格と落札金額の差額や工事出来高見込みを考慮した結果、不用額が800万円見込まれるため、減額の補正を行った。

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決

本会議へ

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

大竹市議会だよりアンケート

読者の皆さまからアンケートを募集しております。

アンケートはこちらから ▶



生活環境委員会 主な審査内容

大竹市晴海臨海公園整備基金

設置条例の制定について

Q 晴海臨海公園整備基金設置後の具体的な環境整備、構想について問う。

A 晴海臨海公園については、利用者が安心かつ快適に利用出来るよう、防衛省の交付金等を活用し、環境整備を推進している。令和6年度は、公園西側エリアの駐車場周囲園路、防球ネット等の整備を予定しているが、事業規模が大きく、工期も令和7年度までかかる見込みのため、設置予定の基金に防衛省の交付金を積み立て、早期の工事完成を目指す。また令和7年度以降については、多目的グラウンドの施設整備や、子ども広場の遊具・シエルトー等の整備を行う計画である。

大竹市自転車等駐車場設置及び

管理条例の制定について

Q 今後の管理の方法及び、料金体系の見直しについて問う。

A 大竹駅西口駐輪場と現在工事を進めている東口駐輪場は、令和6年9月1日より供用開始し、市が直営で管理する。利用料金については、これまでのサイクルパークの料金体系を維持し、運営する。

大竹市役所支所設置条例の

一部改正について

Q 大竹市役所木野支所の機能を大竹木野郵便局に委託することに伴い、発行業務以外の相談等などの様に対応するのかを問う。

A 証明書発行以外にも、文書の取り次ぎなど現在木野支所で実施している事務については、基本的に行える形で協議を進めていく。行政手続きに関する相談業務については、行政知識を持った市職員が行う必要があり、郵便局職員に委託できないものと考えている。

大竹市介護保険条例の

一部改正について

Q 第8期介護保険事業計画では、介護保険料が広島県でもトップレベル、全国でも50位以内に入る安さであり、今回の新しい計画でも多少基準額が上がるとはいえ低い、その要因を問う。

A 大竹市は医療資源が、全国平均と比較して多く、重度の要介護者は、病院など医療施設に入る。介護サービス費ではなく医療費を使って治療生活する割合が高く、大竹市の後期高齢者医療の加入者1人当たりの医療費は、全国でも高水準であり、大竹市では、要介護者でも医療費を利用される方が比較的多いことが、介護

サービス費を低く抑えられている要因の一つであると考えられる。



大竹市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

Q 事業系ごみ処理手数料の改定施行日までに、どのような方法で周知をするのかを問う。

A 商工会議所が作成する会報に記事の掲載と、市が作成する啓発チラシの配布をしていただくよう協議を行っている。また収集運搬、処理を担っていたらいてる一般廃棄物処理業の許可業者に啓発チラシを配布していただくなど、排出事業者への周知依頼を検討している。また市広報とホームページにも掲載する予定である。



採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決



第2回定例会は、令和6年2月29日～3月25日の26日間行われました。詳細については、令和6年6月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。



第2回定例会



大竹市議会YouTube

名前横の時間はyoutubeの動画の
一般質問開始時間です。

3月8日
(1日目)は
こちらから



3月11日
(2日目)は
こちらから



一般質問

【3月8日(1日目)】

豊川 和也

(2:18~)

コミュニティバスが起きた死亡事故について徹底的に問う
入山市長の定例会見についてのご提案

中野 友博

(1:17:13~)

自助・共助・公助で形作る、災害時の情報共有政策について

細川 雅子

(2:20:32~)

本市の小児医療の充実について

山崎 年一

(3:03:54~)

新年度予算編成の方針について
小方まちづくり、J R小方新駅設置と人口減少対策について
子ども医療費の一部窓口負担の廃止で完全無料化子育て支援

山代 英資

(4:12:56~)

デジタル人材の育成について

小出 哲義

(4:33:08~)

災害時の情報発信と避難行動要支援者の個別避難計画について
大竹市における、人材の確保と育成について

【3月11日(2日目)】

小田上 尚典

(1:17~)

道交法改正に伴う自転車の安全啓発について

日域 究

(53:12~)

公図を無視した市政を改めよう
義務教育に大胆な手法を

寺岡 公章

(2:03:41~)

職員の人材確保及び育成に関して

岡 和明

(2:29:40~)

小方地区の道の駅の立地を問う

問

市町村は、法律に基づき、公共交通事業者と協力し、主体的に地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に努めることされており、本市が実施主体となり運行計画を定め、自らの事業としてサービスを提供する運行事業者2社と協力してこいこいバスの運行を行っています。交通事故発生後の対応は、事故を起こした運行事業者に対して、被害者遺族への誠意ある対応、事故の原因究明、安全管理対策

令和6年2月13日午前11時前、小方1丁目の国道2号交差点におきまして、右折したコミュニティバスが横断歩道を青信号で渡っていた歩行者の女性をはねて死亡させてしまったという悲惨な重大事故を起こしました。実施主体として本市の事故後の対応、運行事業者への日頃からの協力体制、指導、今後の徹底防止策等をお聞かせください。

問

コミュニティバスが起きた死亡事故について徹底的に問う



とよかわ かずや
豊川 和也

答

定例会見は複数の報道機関などに対して効率的に、公平に情報を発信できる利点があり、規模の大きな自治体であれば、その効果が期待できますが、本市の規模では効果は小さいと考えます。今後定例会見ではなく必要に応じて報道機関などに対して市のPRを含め、しっかりと丁寧に対応していきたいと考えています。

問

入山市長の定例会見についてのご提案

他市町でよくお見受けする首長の定例会見ですが、本市においても定期的な定例会見を市長に自らの言葉で市民の皆さん、日本全国の皆さんに魅力ある大竹市をPRしていただきたいと思います。

社員教育、事故防止対策などの実施及びこれらの報告について申入れを行いました。運行事業者との日頃の協力体制については、市に苦情が入った際は、速やかに運行事業者と情報を共有して対応し、必要に応じて運行事業者に改善要望などを行うなど、運行上の改善を図っています。このような重大事故の再発防止に向けて、安全管理対策や運転手への安全確認の指導を徹底するほか、運行ダイヤを含めた運行計画を改めて検証するなど、今後、運行事業者としっかりと話し合いを行ってまいります。



なかの ともひろ
中野 友博

自助・共助・公助で形作る、 災害時の情報共有政策について

問

時代が求める防災のあり方も「住民の命は行政が守る」から、自助（自らの命は自らが守る）・共助（地域による助け合い）・公助（行政は地域を支援）の三助へと移り変わっています。

令和5年10月1日に発生した大規模断水を経て、改めて緊急時、災害時にどのような課題があると認識されましたか。また、これまでどのような取り組みをされ、今後どのように取り組んでいくのか、安心・安全なまちづくりを行っています。いくための考えをお伺いします。

災害時に的確な情報をいかに早く収集し、全体に共有するためには、デジタルを活用した取り組みが必要です。

そこで、市民・地域・行政が能動的に情報発信・共有できる、大竹市防災「7m オープンチャット」について提案します。

答

大規模断水時、臨時給水所の開設や復旧状況などに関する情報提供が遅くなったこと、また、水道施設の維持管理については、老朽管路などの計画的な更新や経験を積んだ職員の確保が課題と認識しています。

こうした課題をふまえ、断水の範囲が広く、上下水道局のみでの対応が困難な場合は、直ちに災害対策本部を設置し、早期に飲料水と生活用水の供給をできる体制づくりを考えており、より細やかな情報発信のあり方についても検討してまいります。また、今回と同様の箇所で漏水が発生した場合に断水範囲を縮小できるよう、既設管路の途中にバルブを設置する予定です。

防災・減災のためには、自助、共助、公助がそれぞれ機能することが必要です。自分の命をどう守るかという意識を持って、平時から備えることはもちろん、共助を担う、自主防災組織や地域防災リーダーの育成も重要です。自助と共助についての周知啓発は公助を担う行政の重要な役割であり、また、災害全般に備え、大規模地震災害発生時の初動対応マニュアルや避難所運営マニュアルなどの作成も進めています。

「7m オープンチャット」は災害時の安否確認や情報共有の手段として有効と考えますが、市の公式アカウントではオープンチャットの開設や参加ができず、職員の個人アカウントでの参加は災害対策本部設置時の対応状況等を考慮して、運用は困難と想定されます。



ほそかわ まさこ
細川 雅子

本市の小児医療の 充実について

問

本市の小児医療、平日昼間は2つの開業医と西医療センター。休日と夜間は広島市立舟入市民病院と岩国医療センターに頼っていると認識しています。以前は、西医療センターで夜間の診療や入院の受け入れもあったのと比べると小児医療の受け入れ態勢が後退している印象です。

このような状況のなか、県は2030年までに新病院の建設を計画し、舟入病院の小児科は新病院に移設される予定です。

本市の小児医療の現状と課題、今後の小児医療の環境整備についてのお考えをお尋ねします。

答

本市では平日の昼間は2軒の診療所と、週2回広島西医療センターで小児科診療を行っており、夜間や休日、救急時は主に広島市の舟入市民病院や岩国市の岩国医療センターを案内しています。舟入市民病院、岩国医療センターともに、常に混雑することや、広島西医療センターでは原則、一般小児救急を受入れていないことなど保護者にとって不便であることは課題と認識しています。市では休日診療所で年末年始の診療を実施するほか、小児救急電話相談や救急相談センターの案内など、少しでも市民の不安を解消するために取り組んでいます。

今後について、県の指針では県内の小児科の医師不足などに対応するため、医療資源の集約化が計画されており、舟入市民病院の小児医療が新病院に集約される見込みです。新病院では全国トップレベルの医療拠点として小児医療体制も充実される予定です。この新病院で新たな医師が育ち、医師不足が解消されることが、広島西二次保健医療圏内での将来的な体制整備のあり方につながるものと考え、状況を見ながら同じ圏域の廿日市市と共同で検討していきたいと考えています。



ひろしま県民がより冬号より



やまざき としかず
山崎 年一

子ども医療費の一部窓口負担の廃止で完全無料化子育て支援

問

私はかねてより、学校給食の無償化と、子ども医療費の窓口負担の廃止で完全無料化、子育て支援を訴えてきました。学校給食の無償化は、昨年実現しました。引き続き、子ども医療費の一部窓口負担の廃止、子育て支援を求めます。少子化や子どもの貧困化が深刻化し、若い世代が経済的な心配なく子供を産み育てられる環境が必要です。親の経済的状况に左右されることなく、未来を担うすべての子供たちが平等に必要な医療を受けられることが重要です。

答

個人市民税納税義務者一人あたりの総所得金額は、近年増加が続いています。その増加率は、消費者物価指数の増加率を下回っています。つまり、物価高に賃上げが追いついておらず、市民生活も苦しい状況が続いていると認識しています。

このような背景を受け、昨年度から実施した学校給食費支援事業や、子ども医療費助成事業の対象年齢の拡大などの経済的支援に加え、令和6年度予算案では、おむつ等宅配事業、奨学金貸付事業における所得の認定基準の見直しのほか、子どもの生活・学習支援事業の拡充、歯科健診自己負担額の無料化、生活交通であるデマンド型乗合タクシーの利用促進のための運用見直しなど、本市独自の新たな支援策をしっかりと盛り込みました。

現在、収入が見込まれる空母艦載機交付金や宮島ポートリース企業団からの配分金については、将来にわたり約束された財源ではありません。施策の効果や持続の可能性などをしっかりと検討し、これからも有効に活用していきたいと考えます。

子ども医療費に対する援助の実施状況 (R5年4月1日現)

市区町村における実施状況 (単位: 市区町村)

一部自己負担	通院	入院
自己負担なし	1,198	1,285
自己負担あり	543	456

子ども家庭庁育成局母子保健課調べ



やましろ ひろのだ
山代 英資

デジタル人材の育成について

問

昨今ICT、DX関連の需要が高まっているのは、周知の事実だと思います。デジタル技術の充実にはネットワーク、インフラ周りの整備を含め、土木事業、水道事業と並び、市のデザインの根幹を決定するうえでも、必要不可欠なものとなってきております。

総務省のデータでは全市区町村の6割以上が、自治体DX・情報化を推進するための職員育成を行っているというデータもあります。

大竹市はデジタル技術専門の職員はおりませんが、今年度は県から専門の職員を迎えております。どのようなプラス効果があつたのでしょうか？また、将来を見据えたDX人材の採用・育成を大竹市としてはどのようにお考えでしょうか？

答

広島県から派遣されている情報システム人材の配置による効果としては、情報収集力の強化、職員の安心感の醸成、職員の意識の変化の3点が挙げられます。現状の効果としては、主に意識的なことです。今後、令和6年度から令和8年度までの3年間の情報化推進計画を実行していくことで、市民サービスの向上や内部事務の効率化などの具体的な効果が目に見える形で徐々に表れてくるのではないかと期待しています。

次にDX人材の採用と育成についてです。本市の規模で独自に情報システムに特化した人材を採用することは、現時点では適当でないと考えています。また、今後、デジタル社会が進んでいく中で、市の事務処理をはじめ市民サービスについても、職員が情報化やDXに関する知識と技術を習得しておくことは重要であると考えています。管理職によるDX研修、全職員対象のセキュリティ研修、専門研修や他市町への視察など各種の研修を積極的に行うことで人材育成を図っています。





こいで 哲義
小出 哲義

災害時の情報発信と避難行動 要支援者の個別避難計画について

問 大竹市における防災対策のうち、防災行政無線等の情報発信ツールにおいては、その有効性を検証する必要がある、特に効果が期待される戸別受信機を拡充してはいかがでしょうか？情報発信の際は、市民目線の情報提供を心掛けるべきだと思います。避難行動要支援者の名簿の拡充と、個別避難計画の進捗を伺います。

答 戸別受信機は277台を個人宅に貸与しており、毎年広報で新規設置の募集を行っています。避難行動要支援者名簿は、7,056名の対象者のうち、同意を得た876名を登録しています。このうち、土砂災害警戒区域等に居住の89名を対象に、障害や介護などの優先度が高い15名の個別避難計画の作成を進めています。目標は遠いですが、実効性の高い計画作成を進めていきたいと考えています。



防災行政無線

大竹市における、人材の確保と育成について

問 人材不足は、日本社会が抱える共通の課題です。そのためにも行政がより率先して人材の確保と育成に努め、本市の課題解決、政策の実現に努めて頂きたいと思っています。大竹市職員の採用、人材育成における実態と計画を伺います。市職員が資質を高め、職務を能動的に取り組むためにも、職員のキャリア形成の取り組みについて伺います。

答 職員採用試験の応募者は減少傾向にあり、市ホームページを活用するなど応募者の増加につながるよう、努力したいと考えています。人材育成については、人材育成基本方針を令和5年4月に改訂し、目指すべき職員像を定め、項目ごとに取組を進めています。

研修によって必要な知識や技能の向上を図るとともに、職位に応じて有効な研修を該当する職員に計画的に受講させています。また、採用初期の10年間で能力育成時期として、異なる職場を段階的に経験できる人事配置に努めています。



おだかみ 尚典
小田上 尚典

道交法改正に伴う 自転車の安全啓発について

問 令和5年4月1日から改正道路交法によりヘルメットの着用が努力義務となり、県条例により自転車保険の加入が義務化され一年を迎えます。大竹市でも自転車の通勤・通学での利用率は高く、国勢調査においても自動車に次ぐ利用率で全体の20%以上を占めています。

しかし、ヘルメットを着用することに抵抗がある人や、自身が自転車保険に加入しているか不明のまま運転している人なども見受けられます。年齢層ごとの安全運転や交通マナーの向上をどのように図られていますか？意識醸成のためにもヘルメット購入の補助制度などを検討していませんか？

答 自転車事故の被害の軽減には、頭部を保護することが重要であり、ヘルメット着用率を上げていくため、安全意識の向上に取り組む必要があると考えています。本市では、市ホームページや市広報に「自転車安全利用五則」を掲載し、交通マナーの啓発を行うとともに、警察や交通安全協会など関係機関と連携し、街頭啓発のほか、世代の特性に応じた小学校での交通安全教室や高齢者への自転車講習などを実施しています。

今年度は新たにプロ自転車ロードレースチーム「ヴィクトワール広島」や広島県自転車協同組合大竹支部と連携して大規模事業所の従業員を対象として、ヘルメットの着用の必要性や自転車の危険運転防止などの自転車安全講習を実施しています。

ヘルメットの購入補助制度については、警察庁の調査結果からヘルメットを着用しない理由の多くは、金銭的な問題ではなく、安全に対する意識の問題が低いことが課題となっています。そのため、まずは関係機関と連携して交通ルールの周知や安全に対する意識を高める啓発に取り組んでいきます。





じついき きわむ
日域 究

公園を無視した 市政を改めよう

問

土地開発公社は公有財産管理規則に反し境界確認をせずに用地買収をしています。市民税務課は公園と異なる地番図を本人や近隣地権者の同意もなく作ってそれを根拠に課税しています。公園が不正確であっても唯一公式な地図が公園ですから、用地買収したら公園を修正、課税するにも不備があれば公園を修正して課税すべきです。如何ですか。

答

地方税法上には、公園により固定資産税の課税評価を行わなければならないとの規定はありません。市では、公園を補う固定資産税の評価資料として、地方税法に則り地番図を作成し賦課をしています。しかし、現況と公園が相違ないことに越したことはないの、正確な公園とするため、地籍の再調査を実施していくことが決定しています。時間は掛かりますが、徐々に解消していくと考えています。

義務教育に大胆な手法を

問

全ての子どもが通う義務教育ですが、実際の子ども達は多様です。理解力に合わせどの子どもも納得できる教育にしませんか。給食無償化はすごい決断ですが教育の手法でも大胆な一歩を期待します。

答

学校には、さまざまな子供があり、得意・不得意、学習の理解に要する時間も個々に異なります。本市では、一斉指導型の授業だけでなく、タブレットなどを活用した個別学習やグループ学習で個々の理解度に合わせて学習を進めたり、子供の興味・関心などに応じた課題学習を行ったりするなど、学力の定着に向けて取り組んでいます。また、「個別最適な学び」を実現するため、「自由進度学習」に取り組みもしている学校もあります。今後も、多様な子供たちが学ぶ楽しさを味わい、学力の定着ができるよう、さまざまな方法を模索しながら、学校教育のさらなる充実に向けて努めていきます。



職員の人材確保及び 育成に関して

問

大竹市議会は、昨年12月定例会において令和6年度の一般会計および各特別会計の当初予算編成にあたり、表題に関して特に推進に努めることと決議しました。

これまでも大竹市は決算特別委員会に限らず、諸会議であがった意見を真摯に受け止め、適したタイミングで適した内容については予算や事業仕組みづくりに活かしてくださっています。ただ、会議内で発言された意見の多くはあくまで議員個々の意見、アイデアであり本議会決議とは性格が異なるものです。

令和4年度の決算審査後の委員の協議では意見集約の後、表題の提案が本会議において全会一致での議会組織の意思となっていました。

令和6年度当初予算案にはどのように反映されていますか。

答

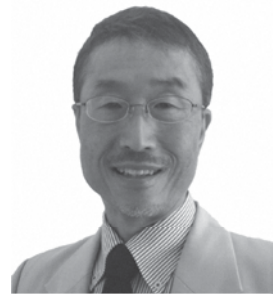
まず、人材確保について、常勤一般職員の総数は5人程度増える見込みのため、職員数の増を見込んだ人件費を計上しています。次に、人材育成について、人材育成に特化して増額したものはありませんが、職員研修については、例年どおりの額を計上しています。効果的な研修方法について検討するとともに、研修の意義や目的など周知を図り、職員に自発的な能力向上を促すような環境を整えていきたいと考えています。

次に、本市を就職先として選んでもらうための魅力発信について、現時点では、大きな予算を伴わない形で、公務員を志望する皆様に本市に注目していただき、本市を選んでいただくことにつながるような取組から始めていきたいと考えています。

DXによる効果的な人材活用策については、来年度から若手職員によるデジタル技術を活用した業務改善プロジェクトチームを編成し、市内部の効果的な業務改善につながる企画立案を行う取組を予定しており、「情報化推進事業」として予算計上しています。来年度から情報化推進計画を実行していきますが、取組による効果がすぐに出るわけではありませぬので、人材活用策についても引き続き検討していきたいと考えています。

決議内容はこちらから↓





おか 和明
かずあき

小方地区の道の駅の 立地を問う

問

1月の「小方地区のまちづくり基本構想」は、新駅予定地区が往来・用地・文化の面で干載一遇の好条件なのに、これらを活かさない内容です。本来なら小学校跡をJR隣接の道の駅とし、車から鉄道への乗り換えを至便にし、相乗効果で賑いを創出すべきですが、「基本構想」では道の駅をJRから遠い中学校跡に置き、JR周辺（小学校跡）を民有地で埋めるとしています。

この構想は「住宅や小店舗に囲まれた駅」という古い駅イメージにとらわれ、車普及前の手狭な駅を大竹・玖波間に一つ増やすだけの案です。2号線・高速道・バイパス沿道のパーク＆ライド需要を吸収できず、亀居城の活用につながらず、玖波駅に駐車できない住民も救済できません。

答

小方中学校跡地にスポーツ・体験型の道の駅を整備することで晴海臨海公園と一体としたスポーツ拠点とすることができ、既存の総合市民会館の体育館の利用者のみならず、晴海臨海公園の利用者も含め、道の駅の集客数の確保にもつながると考えています。

道の駅を安定的に運営していくためには、周辺地域の方に利用していただくことが重要であり、また国道2号の下り側の小方中学校跡地に行っているのは、本市や近隣の和木町や岩国市の工場が海側、下り線側にあり、道の駅の設置目的である車両運転者の休憩施設の役割を十分果たせると考えています。

公共で、パークアンドライドを整備する場合は、ニーズや規模、採算性について十分に検討する必要性があります。なお、議員が提案する無料のパークアンドライドは、何日も駐車し続ける問題もあり、他の自治体でも取組が進んでいません。

また亀居公園の活用については、小方地区のまちづくり基本構想にも盛り込まれており、駅ができれば亀居公園へのアクセスや駐車場を整備し、しっかりと活用していくことを想定しています。



JR隣接型の道の駅イメージ
(岡議員提供)

第1回市議会(臨時会) 議案の審議結果表(主な議案)

議案など	北地 範久	中野 友博	豊川 和也	山代 英資	岡 和明	小出 哲義	末広 天佑	藤川 和弘	中川 智之	小田上 尚典	西村 一啓	山崎 年一	日域 究	細川 雅子	寺岡 公章	審議 結果
議案第2号 令和5年度大竹市一般会計補正予算(第6号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

第2回市議会(定例会) 議案の審議結果表(主な議案)

議案など	北地 範久	中野 友博	豊川 和也	山代 英資	岡 和明	小出 哲義	末広 天佑	藤川 和弘	中川 智之	小田上 尚典	西村 一啓	山崎 年一	日域 究	細川 雅子	寺岡 公章	審議 結果
議案第3号 令和6年度大竹市一般会計予算	—	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第14号 大竹市晴海臨海公園整備基金設置条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号 大竹市自転車等駐車場設置及び管理条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号 大竹市役所支所設置条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号 大竹市介護保険条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号 大竹市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号 大竹市マロンの里の指定管理者の指定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号 令和5年度大竹市一般会計補正予算(第7号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—: 議長

○: 賛成

●: 反対

欠: 欠席

棄: 棄権

基地周辺対策特別委員会

○ 執行部からの主な報告 令和6年3月4日

岩国飛行場周辺の航空機騒音状況の提示（R5.11月～R6.1月）により報告を受けました。阿多田島における航空機騒音自動測定装置による調査表では、70デシベル以上、90デシベル以上の回数が大幅に増加しています。

阿多田島測定地

年 月	70デシベル以上	90デシベル以上
令和5年11月	329回	79回
令和5年12月	501回	76回
令和6年 1月	358回	94回
合 計	1188回	249回

令和5年11月19日に空母が横須賀に入港、空母艦載機が岩国に帰還することで騒音の発生件数が増加しています。

○ 基地周辺対策特別委員会の今後の取り組み

次の2つの項目について、調査研修を行うことを決めました。

1. 住宅防音工事の助成・対象区域等の研修会を開催。
2. 空母艦載機が帰還する5月をめどに騒音の実態調査をする。

議会のあり方調査研究特別委員会

令和6年1月～3月

1月17日(水)、22日(月)、2月2日(金)、21日(水)、3月4日(月)、21日(木)にて、述べ10回の会議を開催し、各テーマにおいて協議と取り組みを進めています。また、2月27日(火)には当委員会発起にて議員全体の研修会が開かれました。

● 議会情報の発信

- ・市内公共施設において本会議放送の拡大
- ・議会の仕組みや流れについて市議会だよりに掲載 など

● 政務活動費

- ・活動状況の調査と時代にあった使途の確認
- ・審議会諮問に向けての調整 など

● 議会・議員のあるべき姿の共有

- ・心構えの策定と共有方法



議員研修会の様子
高沖 秀宣 氏「議会・議員の役割」

それぞれ4月中に一定の成果や方向性がまとまる予定です。

その後は令和5年11月までの会議で上がった意見を再度協議の場にあげ、新たなテーマを抽出し取り組んでいきます。



感情やエネルギーを お届けするメッセンジャー

第44回のインタビューは

大好き大竹応援大使の

Yuriko Miyake (三宅由利子)

さんです。



自己紹介をお願いします

Yuriko Miyake じゅりこ。大竹出身のニューヨーク在住で、肩書は「表現師」です。表現師って何ですか？とよく聞かれます(笑)。歌ったり、踊ったり、芝居したり、人前で表現することを生業としています。女優やダンサー、シンガー、それぞれの垣根を取っ払って、私は「表現師」と名乗っています。感情やエネルギーをお届けするメッセンジャーとでも申しましょうか。誇りをもっています。最近は通訳をさせて頂く機会も増えています。

応援大使になるきっかけを 教えてください

大変ありがたいことに、市役所の方
に直接お声がけ頂きました。大竹出身

ではあるものの、なにせ海外在住で8〜9割日本にいない自分に、ちゃんと務まるだろうか、とても心配になったのを覚えています。ですが、そんな私を快く迎え入れてくださり、感謝の気持ちで一杯です。海外にいる私だからこそできる何かを、只今絶賛模索中です！



殺陣演武：Photo by Masaki Hori

大竹市の思い出の場所や 出来事をお聞かせください

私は、小さい頃より、大竹でジャズダンスを習っていたので、そのレッスンで通い続けた大竹市民会館やサントピア大竹、発表会で立ち続けた舞台のあるアゼリアホールが思い出の場所ですね。ダンスを通して、素晴らしい師に出逢い、仲間達と楽しく、時にはぶつかりながら友情や連帯感を深めたものです。悔しくて泣いた日も、楽しく笑い転げた日も、嬉しくて泣いた日も、全て人生の宝物が詰まった場所です。表現師人生の原点です。

応援大使として今後どのようにして 大竹市を盛り上げたいですか？

一時帰国時に、毎回、玖波公民館さ

んがお声がけくださり、僭越ながら講演会を開催する機会を頂戴しています。私自身が構成・演出・振り付け・出演し、ニューヨークでの経験談を含めたコトでしか聞けない武勇伝をシェアしたり歌ったり踊ったりと、大竹の皆さんを思い浮かべながら、好きなようにアイデアを練りながら創っています。これはできる限り続けていきたいですね。皆さん、是非いらしてください！

今後の活動など大竹市民へ メッセージをお願いします

一つ前の答えの続きになりますが、一時帰国の際は、大竹でも様々なイベントに呼んで頂けるように精進したいなと思っています。私にできる何かで、全力でエネルギーを飛ばしたいと願っています。世界中のどこかではいつも悲慘なことが起こり続けている世の中ですが、私達も私達の精一杯で生きて、楽しみながら目の前にあることができることを、できる限りやっていきましょう。また、皆さんに直接お会いできる日を楽しみにしています！



短編映画撮影現場：Photo by Kaisei Arai

あとがき

いつも大竹市議会だよりを見ていただきありがとうございます。

読者の皆さまから議会だよりへのご提案、ご指摘などをアンケートでいただいております。2次元バーコードを読み取っていただきスマートフォンから気軽に送れるようになっていきます。送っていただいた方へは大変感謝しています。

皆さまからいただいたアンケートは、広報広聴特別委員会委員に共有されます。私自身、この瞬間のワクワクドキドキ感がたまりません。時には厳しいお言葉もいただきますが、議会だより改善へのヒントが詰まっています。それをもとに委員が話し合う姿は真剣勝負そのものです。

これからの議会だよりをもっともつとよりよいものにしていきたいと思いますので、皆さまからの意見、ご提案などお待ちしております。(アンケートへのアクセスは、7ページに記載あり。)

豊川 和也

広報広聴特別委員



委員長 藤川 弘
副委員長 中川 智之
委員 中野 友博
委員 豊川 和也
委員 山代 英資

出 哲
末 天
広 佑

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

